


学会成果報告書

学会名	第21回日本腎不全看護学会学術集会・総会		
大会長所属	医療法人 鈴木泌尿器科		
大会長氏名	赤津 サトミ		
テーマ	紡ぎ 織りなす 腎不全看護の絆		
開催日	2018年11月10, 11日	参加人数	1,417 名
場所	ホクト文化ホール		
<p>学会サマリー</p> <p>秋晴れの紅葉が一段と深まった長野市ホクト文化ホールにおいて、第21回日本腎不全看護学会学術集会・総会が開催された。学会員、非会員含め総計1,417名の参加があり、主要講演として、特別講演3演題、教育講演5演題、一般演題（口演、ポスター）232題の発表があった。主要講演では参加者から感銘を受けたという評価をもらい、会場を感動の渦に巻き込んだ講演もあり好評であった。教育講演では実践につながる内容の講演が多く、参加者から好評であった。部屋数の関係で交流集会は楽屋を開放して開催し、どの交流集会の会場も多くの参加者があった。今大会では初めて救急法についての実践セミナーを開催したことで、クリニックなどでBLSを実践したことがない看護師が体験できる機会となった。癒しのコンサートは、招待していたグループが急遽これなくなるといったハプニングがあったが、信州大学教授の機転で飛び入りコンサートをしてもらうことができ、参加者から感嘆の声があった。開催中の各会場の様子をスライドで編集し、バックに放映できたことも効果的であった。企業からはランチョンセミナー6件、スイーツセミナー2件、フルーツセミナー2件の協力が得られ、招待演者も著名な先生方で内容が充実していた。新企画のフルーツセミナーも好評であった。</p> <p>また、透析治療の歴史がわかるよう、昭和40年、50年代に使用された透析機器展示も企画したことで、展示コーナーもにぎわっていた。AI機器として介護ロボットの展示にも興味をもってもらうことができた。企業展示には26社から協力を得ることができた。書籍は2店舗が協力してくれ、主要講演の演者の著書なども取り扱ってもらうことができた。</p> <p>多くの参加者とあらゆる方面から協力、支援をもらうことができ、参加者から今までにない暖かな学会であったと評価を受けられた。大会のテーマである「紡ぎ 織りなす 腎不全看護の絆」の絆が深まられた学会であった。</p>			